石屋工務店 かわら版

第227号

令和5年7月19日発行

石屋工務店

TEL シックニ イシヤサン
075 492-1483
http://www.kyoto-deseo.co.jp/

〒603-8474 京都市北区大宮薬師山東町47-5
建設業/京都府知事(般-30)第31625号 インテリアコーディネーター登録店

粋人 石屋の多趣味人生 その201

クラピアを植える。

石屋 紀次

最近も庭の雑草に追いまくられる日々です。天気の良い休日は草刈りを続けているのですが、天気の良い時ばかりではありません。もう少し効率よく庭の管理をしたいので、かねてから気になっていた「クラピア」を植える事にしました。

まず「クラピア」とは何かといいますと除草剤の研究者でもある宇都宮大学の倉持先生が薬を使わなくても雑草対策できる物として開発した、グランドカバーの植物です。元々あった岩垂草を改良した物で、芝生の十倍の生育速度で根が三倍まで深く張ります。特徴として横に広がる性質を持ちそれ程背丈は高くなりません。白いかわいらしい花を咲かせます。芝生より手入れが簡単で庭一面が緑で覆われ、裸足で歩くとても気持ちのいい草です。簡単に増え、庭を覆うので雑草が生えにくくなります。

ここまで観るとものすごく良いところばかりのように聞こえますが、万能ではありません。基本的に強い草ですが、日当たりが悪かったり、水はけが悪いと枯れてしまいます。その為植えて完全放置とはいきません。それなりの管理が必要となります。「クラピア」は適度に踏んだり刈りこむとより強くなり葉も小ぶりになり、より緻密に地面を覆ってくれます。この手間は省かない方が良いようです。

人工的に改良された品種ですので、種を付けません。その為、種が飛んで隣の敷地を覆うようなことはありません。これは安心できるところです。

購入方法はネットで苗を仕入れて自分で植える事になります。この苗が結構高価で、一株で五百円程します。今回私は二十株購入しまして西側の庭に植えました。二、三ヶ月でかなり成長すると思いますので、今から楽しみです。成長の様子はマメにアップしたいと思います。お楽しみに。

クラピア

←こちらのQRコードから
弊社ホームページをご覧いただくと
かわら版をカラーでお読みいただけます

現場報告

※完成間近
鳴滝の物件

★薬師山の物件（新築）
販売開始しました。
★鳴滝の物件（リノベーション）
完成まじかです。入居募集開始しました。
★伊那の物件（リフォーム）
キッチン取付しました。
★生駒の物件（新築）
着工いたします。
★南丹の物件（ハイツ新築）
再見積もり作成中です。
★長岡京の物件（リフォーム）
二期工事着工しました。
★大津の物件（新築）
工事見積依頼請けました。
★大山崎の物件（収益物件）
医療施設で再提案いたします。
★網野の物件
工事着工致しました。
★鳴滝の物件
売り土地販売中です。
★京都駅賀茂川の物件
収益物件のプラン作成中です。
★円町の物件
工事依頼請けました。
★上七軒の物件
依頼を請けました。
★修学院の物件
オーニングの依頼を請けました。
★上高野の物件
外構工事の依頼を請けました。
★円町の物件２
外壁、屋根工事の依頼を受けました。

かわら版のネタ

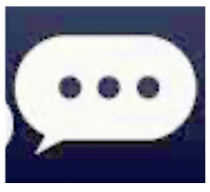
高野圭亮

ユーモアや創造力を刺激するために、かわら版のネタを見つける方法をいくつかご紹介します。

①日常の出来事：身の回りの出来事や日常生活で起こった面白いエピソードを探してみてください。思わぬ出来事やユニークな経験は、ユーモラスなかわら版ネタになるかもしれません。

②パロディや風刺：有名な人物や流行のトピックに対してパロディや風刺をするアイデアを考えてみましょう。社会の風刺やユーモラスな視点を取ることで、面白いかわら版ネタが生まれるかもしれません。

③ワードプレイやダジャレ：言葉遊びやダジャレを利用したユーモアのネタを考えてみてください。言葉の響きや意味の変化を利用したユニークなジョークは、かわら版にピッタリです。



熊本と福岡へ

村田真由美

先日、熊本と福岡へ行ってきました。父の出身が五島列島なので長崎へは何度か行ったことがありますが、その他の九州地方は初めてで、遠いイメージがありましたが新幹線を乗り継ぎ、あっという間に到着しました。

目的は、熊本で開催された推しのイベントです。わざわざ熊本まで…と思われそうですが、こういう楽しみがあるので毎日の生活もとても楽しく過ごせています。

ついでにと言ったら失礼ですが、復旧途中の熊本城にも行ってきました。仮設の通路が組んであり、地震の傷跡も観ながら復旧済みの天守閣の中を見学してきました。全ての復旧が終わるのは二〇五二年だそうです。

せっかく熊本まで行ったので、博多に寄って太宰府天満宮にも行ってこようと、もう一泊していたのですが、その日は大雨で行くことを断念し「博多祇園山笠」の飾り山笠をいくつか見ながら、聖地のお店だけ巡ってきました。

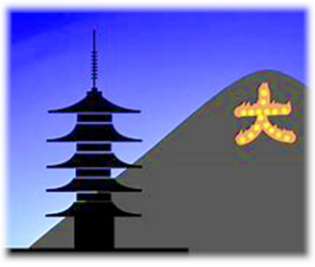
またいつか、推し事で行ければいいなぁと思っています。

「幻の五山送り火」

多胡賢一

京都の盆といえば、五山送り火(お精霊送り)ですね。現在は五山ですが、その昔は十山以上あったと言われています。中でも有力なのは「い…二ノ瀬付近、一…鳴滝付近、蛇…大覚寺の北部、長刀…嵯峨観空寺谷町、鈴…西山」にあったそうです。

歴史的に数百年も前からある行事ですが、始まりや送り火の文字の意味について色んな説があるようですが、ハッキリと証明できる記録がないというなんともミステリアスなのがいいですね!!

ちなみに、「五山の送り火」を「大文字焼き」という方がおられますが、京の人が聞くと嫌悪されますので気をつけてくださいね。

まあ、たしかに「大」の文字を燃やすんですがね・・・(笑)